

<聖隷三方原病院>内科

<プログラム類型>

③地域密着型コース

<プログラム概要>

このプログラムは、静岡県下最大の病床数を有する基幹施設である聖隷三方原病院を中心とし、静岡県中東遠、西部医療圏にある連携施設群で構成されたプログラムです。  
 基幹施設は、静岡県西部医療圏の高度急性期病院であり、ドクターヘリの運航実施施設、高度救命救急センターといった救急診療を展開しています。  
 一方では日本最初のホスピス病棟を始めとして、結核病棟、精神科病棟なども有し、慢性期や終末期の診療へも力を注いでいます。  
 聖隷三方原病院の内科系専門科は、総合診療内科、呼吸器内科、循環器科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、内分泌代謝科、血液内科、感染症リウマチ内科、脳卒中科、神経内科等があり、それぞれ専門領域の学会教育病院の認定を受けています。  
 基幹施設の内科系診療科の特徴として、呼吸器内科は病床数も多く外来・入院ともに症例数が多いことが特徴です。また、結核専門病棟を有しているため、結核の症例も多く経験できます。  
 循環器科は24時間体制で救急対応をしており、心臓カテーテル検査の数も多いです。  
 消化器内科は内視鏡件数が多く、上部および大腸ESDや胆道系治療内視鏡、消化管ステント留置術など様々な検査手技を経験できます。  
 腎臓内科は透析患者数が多く、入院外来合わせて15000件以上(2017年度実績)の実績があります。また、施設の特性上、様々な合併症をもつ慢性腎不全患者の管理も行っています。  
 総合診療内科に関しては30年以上の歴史があります。総合診療内科では主に複数で複雑な病態を持つ患者、原因不明の症状所見のある患者、そのうえに社会的な問題のある患者、感染症、血液病、自己免疫疾患などの患者を診療していて症例が豊富です。  
 連携施設には、地域の中核である医療機関や、へき地医療、在宅医療を担う医療機関に参加していただいています。  
 また専攻医の希望によりプライマリケアの力も育てられるよう、基幹施設では内科診療に関連する診療科として、ホスピス科、救急科等での研修も選択可能にするなど、将来の医師像を様々な描けるようなコースを揃えています。

<取得できる資格>

内科専門医

<現時点の受入見込数>

1人

<具体的なコース>

うち、4年間を医師不足地域で勤務

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	<基幹>聖隷三方原病院 <連携>聖隷浜松病院、浜松市国民健康保険 佐久間病院、聖隷袋井市民病院、すずかけセントラル病院、天童すずかけ病院、坂の上ファミリークリニック、坂の上在宅医療支援医院	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します
	上記のうち、連携施設研修を6ヶ月以上必須とする	

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方		
富士		
静岡		
志太榛原		
中東遠	聖隷袋井市民病院	
西部	聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜松市国民健康保険 佐久間病院、すずかけセントラル病院、天竜すずかけ病院、坂の上ファミリークリニック、坂の上在宅医療支援医院	